

2025年 月 日

次のとおり、申込みをいたします。

「あかし保育絵本土」養成講座（基礎コース）受講申込書

①氏名（ふりがな）	(ふりがな) (氏 名)		
②所 属（施設名） 住所・連絡先	■施 設 名：		
	■郵便番号(〒)		
	■住 所：		
	■Eメール：		
※住所や連絡先は、所属施設のものをご記入ください。 ※■の項目を全てご記入ください。	■電話番号：		
	■FAX 番号：		
③所属施設の種別（該当に○） ※該当するものに○印をつけてください。	・公立 ・私立	・幼稚園 ・認定こども園 ・その他（	・保育所（園） ・小規模保育事業所
④現在の担当クラス ※フリーや施設長の場合は、その旨を記載してください。	() 歳児クラス ・ () 名		
⑤保育者としての経験年数	() 年 () か月		
⑥プログラム（p.3）で、興味ある講座（回数番号）に☑をしてください。（複数回答可） □1回 □2回 □3回 □4回 □5回			
⑦これまでの経験の中で、子どもが喜んだ本のタイトルを3つご記入ください。 また、それは何歳児が対象だったか、ご記入ください。 (1)「 」／対象：() 歳児 (2)「 」／対象：() 歳児 (3)「 」／対象：() 歳児			
⑧応募の動機・学びたいことを自由にご記入ください			



「あかし保育絵本土」

(基礎コース)

— ひびきあう保育のために —

養成講座

基礎コース

7期生
募集!

絵本をきっかけに、保育者・乳幼児・保護者など保育の場に集うすべての人が、ともにひびきあい、育ちあうよう、保育環境の充実を図るため、明石市オリジナルの資格制度として、「あかし保育絵本土」養成講座を開講します。

絵本を仲立ちにして、乳幼児の豊かで伸びやかな育ちを支えるために、保育者としての「絵本を選ぶ力」、「絵本を乳幼児に読む力・読みあう力」、「絵本の読みあいの様子を分析・省察し、記録する力」の技能を修得し、これらの技能を修得した受講生を「あかし保育絵本土」として認定します。

※単なる読み聞かせのテクニック講座ではありません。

■対象者

原則として、明石市内の幼稚園又は認可保育施設（保育所（園）、認定こども園、小規模事業所）に勤務する幼稚園教諭（園長も可）と保育士、保育教諭（施設長も可）

※下記の募集定員に達しない場合は、市内の認可外保育施設等に勤務する保育士等を受講生として受け入れるときがあります。また、児童福祉施設等の子どもに関わる施設に勤務する方を「聴講生」として受け入れるときもあります。詳しくは、下記申込み先までお問合せください。

■定 員

25名（申込みが25名を超えた場合は、選考となります。）

■申込期間

2025年 4月10日(木) ～ 4月24日(木) 必着

■養成講座の流れ



■受講料・認定料

無 料

■申込み先（お問合わせ）

- ・申込みは、電子申請（右下の二次元コード）から。
- ・電子申請が難しい場合は、郵送（庁内便可）、FAX又はメールでお送りください。

「あかし保育絵本土」とは？

絵本を通して一人ひとりの子どもと向き合い、それぞれの
子どもの個性に合わせたきめ細やかな保育ができる保育者

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号 明石市役所分庁舎5階
明石市政策局プロジェクト推進室 本のまち担当 「あかし保育絵本土」係
TEL: 078-918-5209 / FAX: 078-918-5136
Eメール: hon_akashi@city.akashi.lg.jp



■受講（選考結果）のお知らせ

5月8日(木)までに連絡します。

■開催日、開催時間、開催場所

※変更の場合は受講者にお知らせします。

	開催日	開催時間(休憩含む)	開催場所
第1回	5/23(金)	15:00~18:00	パピオスあかし5階 多目的ルーム
第2回	6/27(金)	15:00~17:40	パピオスあかし5階 多目的ルーム
第3回	7/9(水)	15:00~17:40	パピオスあかし5階 多目的ルーム
第4回	8/8(金)	15:00~17:40	パピオスあかし5階 多目的ルーム
第5回	9/19(金)	15:00~18:20	パピオスあかし5階 多目的ルーム

※自然災害等の不測の事態が生じた場合は、講座日程の延期または中止することがあります。

その際は、申込施設又は各受講者にあらためてお知らせします。

※マスクの着用へのご協力をお願いする場合がありますので、マスクをご持参ください。

■講師

氏名	所属	専門分野
佐々木 晃	鳴門教育大学 教授	幼児教育学・保育実践学
佐々木 宏子	鳴門教育大学 名誉教授	乳幼児教育・心理学
徳永 満理	おさなご保育園 理事長	保育学
松本 崇史	おとりの森こども園 園長	保育学

■認定の基準

○原則として、全講義の受講と課題提出が認定の前提条件です。

(やむを得ず欠席する場合は、講義のDVDと資料をお渡しします。※欠席は1回限り)

○講義及びワークショップでの成績、出席状況、レポート(課題)等を総合的に判断します。

■2024年度受講者の声

講座を受講して、
変わったと思うことー

読み合いをした時に子どもたちの表情や言葉など丁寧に受け止めるようになり、読み合いの時間を人と人との出会いとして捉えるようになりました。また、子どもたちが主体的に選書できるように工夫したり、子どもたち同士で読み合いができるように異年齢での交流をもったりすることができました。

何よりも絵本との向き合い方や幼児がどのように絵本に触れているか(教師からの捉えではなく、そこからどのように幼児の世界が広がっていくかに着目する面白さを教えていただけたことが大変良かった。

いろいろな場面で、絵本を通して子どもと関わる時に、押し付けではなく、子どもの反応や、姿に目を向けるようになった。

絵本を読む時間、読んでいる子どものその時間を大切に思えるようになったし、意識するようになった。

■2025年度 プログラム(基礎コース) 全5回開催

科目	回数	開催日	時間(分)	講座内容	講師
絵本を選ぶ力	1	5/23(金)	10	オリエンテーション	
			170	保育の中で絵本を選ぶ 「保育の中で絵本を活かす」～集団保育の中の絵本の位置づけ～ ・絵本を使って保育をしない!? ・これまでの受講生の回答から ・静かに黙って絵本を聞かせることの意味を問い直す 「様々な視点での選書リスト」 ・0歳児～5歳児までの集団保育における絵本の選書 ・これまでの受講生の工夫されたリスト ・園の行事、四季の行事等と絵本	佐々木(宏) 徳永
読む力・読みあう力	2	6/27(金)	160	子どもの心を読むⅠ —絵本の「読みあい」とは何か— 「子どもの具体例を通して選書の意味を考える」 ～様々な読みあいの具体的な事例から～ ・0歳～2歳児 ・3歳児～5歳児 ・昔話、民話に見る多様な絵本をどう読み解くか ・指人形、ペープサートなどを使って ・メディアミックス絵本やポップ絵本について	徳永
読む力・読みあう力	3	7/9(水)	160	子どもの心を読むⅡ —絵本の記録は何のためにとるのか— 「読みあいの記録」とは単なる文字の記録ではない ・子どもは読んだ感想をどのように表現するのか ・絵本の読みあいから生まれた様々な作品 ・保育を豊かにする絵本と遊びの世界 ・エピソード記録の楽しさと工夫	佐々木(晃)
まとめ	4	8/8(金)	160	集団保育の中で絵本を活かす —楽しみながら共有し考える子どもと保育者— 「集団保育ならではの絵本の持つ意味や可能性を探る」 ・これまでの受講生の実践で生まれた新しい発想、アイデア等 ・保育者の予想を超える展開から示唆されたもの 「保育の中に絵本が活きる瞬間」 ・「絵本を集団保育の中に活かす」とは ・絵本を読みあうことで新しく生まれるもの ・特別な配慮が必要な子どもたちに向けた選書と読みあい	松本
まとめ	5	9/19(金)	200	絵本の読みあいから考える「子どもが主体の保育」とは ・第1回～第4回を振り返っての協同討議 (講義、ワークショップ、質疑応答)	佐々木(宏) 徳永

・講座はいずれも、講義とワークショップです。各回終了後、レポート(課題)があります。

・コース修了後、認定を受けた方に「認定証」をお渡しする予定です。

・認定者の所属施設には、奨励賞をお渡しする予定です。※奨励賞の詳細は講座内で説明します。